

- 問1 ある地域の地形図において、北西部に標高40mから50mを示す等高線（計曲線）が分布し、南東部に市街地や低地が広がっている場合、この地域を流れる河川の流向（流れる方向）として最も適切なものはどれですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）
1. 北東から南西へ流れている 2. 北西から南東へ流れている 3. 南東から北西へ流れている 4. 南西から北東へ流れている
- 問2 2万5千分の1地形図において、地図記号として「果樹園」「荒地」「針葉樹林」が点在し、主要な道路に沿って家屋を表す黒い四角形が細長く連続して分布している地域があります。このような、道路や水路などの交通路に沿って家屋が列状に並んで成立した集落の形態を何と呼びますか。（2016年 長崎県公立入試 類似）
1. 路村 2. 門前町 3. 散村 4. 条里集落
- 問3 長野県の中央高地では、夏にレタスなどの高原野菜の出荷量がピークを迎えます。この地域で夏の時期に野菜作りが盛んに行われている理由として、気候の特色と関連づけた説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 佐賀県公立入試 類似）
1. 標高が高く夏に涼しい気候を活かし、平地の出荷量が減る時期に出荷を合わせる抑制栽培を行っているため。 2. 冬でも温暖な気候を利用して、他の地域よりも収穫時期を早める促成栽培が発達しているため。 3. 季節風の影響を直接受けるため、夏でも湿度が高く野菜が乾燥しにくい環境にあるため。 4. 年間降水量が多いため、夏場に大量の水を必要とする野菜の栽培に適しているため。
- 問4 日本列島の骨格をなす山地の配置について述べた文として、正しいものはどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）
1. フォッサマグナより西側の地域では、山地や山脈は主に東西方向に連なっている。 2. フォッサマグナより東側の地域では、山地や山脈は主に東西方向に連なっている。 3. フォッサマグナより西側の地域では、山地や山脈は主に南北方向に連なっている。 4. 日本列島全体において、山地や山脈は一貫して北東から南西の方向に連なっている。
- 問5 10メートル級の津波が想定されている標高の低い沿岸地域において、人工的に造られた避難施設である「命山」の役割を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 高潮による浸水を防ぐために、海岸線に沿って等間隔に配置された人工の防砂林 2. 自然の高台がない平坦な土地において、津波から一時的に身を守るために造られた避難用の丘 3. 大雨による河川の氾濫を防ぐために、集落の周囲を囲むように築かれた輪中堤の一種 4. 地震による液状化現象を防ぐために、海岸沿いの地盤をあらかじめ固めて高くした土台
- 問6 日本の気候区分について、東北地方の太平洋側に位置する都市と、四国地方の瀬戸内沿岸に位置する都市の降水量の特徴を比較した説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）
1. 太平洋側の都市は冬に北西からの季節風の影響で雪や雨が多くなるが、瀬戸内の都市は一年を通して温暖で、夏に最も降水量が多くなる。 2. 太平洋側の都市は冬に乾燥する一方で年間の降水量は1200mm程度にとどまるが、瀬戸内の都市は夏に降水量が集中するため年降水量が2000mmを超える。 3. 太平洋側の都市と瀬戸内の都市は、ともに標高の高い山々に囲まれた盆地特有の気候を示し、年間を通じて降水量が非常に少ない。 4. 太平洋側の都市は夏に南東からの季節風の影響で降水量が非常に多くなり年降水量が約2000mmに達するが、瀬戸内の都市は年間を通じて降水量が少なく1200mmを下回る。
- 問7 日本の気候に関連して、豪雪地帯において信号機を縦型にするなどの「インフラへの降雪対策」が必要となる背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 静岡県公立入試 類似）
1. 小笠原気団から吹く湿った南東の季節風が、太平洋側の地域に乾燥した冬の気候をもたらすため 2. 揚子江気団から移動してくる高気圧の影響で、一年を通じて全国的に降水量が均一になるため 3. 暖流である日本海流（黒潮）の影響で、冬の日本海側では非常に湿度の高い上昇気流が発生するため 4. シベリア気団から吹く湿った北西の季節風が山脈にぶつかり、日本海側や山間部に雪を降らせるため
- 問8 川が山間部から平野へと流れ出るところで、川の流れが緩やかになることによって、運ばれてきた砂や石が扇の形に堆積してできた地形を何といいますか。（2020年 三重県公立入試 類似）
1. 三角州 2. 扇状地 3. 台地 4. 砂丘
- 問9 火山の噴火や爆発の影響で、火口周辺が大きく落ち込むことによって形成された巨大な凹地の名称を、カタカナ4文字で答えなさい。（2023年 福島県公立入試 類似）
1. カルスト地形 2. カルデラ 3. リアス海岸 4. シラス台地
- 問10 大阪平野や京都盆地を含む地域では、太平洋側や日本海側の地域と比較して、年間を通じて降水量が少なく晴天の日が多いという特徴があります。このような気候が形成される地理的な要因として、最も適切なものはどれですか。（2018年 熊本県公立入試 類似）
1. 北側の中国山地と南側の四国山地によって、季節風が運ぶ湿った空気が遮られるため。 2. 標高の高い山々に囲まれた盆地であるため、夏場でも雲が発達しにくい上昇気流が発生するため。 3. 暖流である対馬海流の影響を強く受け、年間を通じて乾燥した空気が流れ込みやすいため。 4. 季節風が直接吹き込むものの、平坦な地形が続くため雲が停滞せず雨が降りにくい。
- 問11 日本の冬の気候において、日本海側で雪や雨が多くなり、太平洋側で乾燥した晴天の日が多くなる現象には、季節風と地形が深く関わっています。この仕組みを説明する空欄①・②にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「冬になると、大陸から（①）の季節風が吹き出す。この風が（②）を渡る際に水分を含んで雪雲を作り、山地にぶつかることで日本海側に雪を降らせる。」（2019年 千葉県公立入試 類似）
1. ① 南西 - ② 日本海 2. ① 南東 - ② 太平洋 3. ① 北東 - ② オホーツク海 4. ① 北西 - ② 日本海
- 問12 ある都市の気候データを分析すると、年平均気温は約14℃と比較的温暖で、年降水量は2500mmを超える多雨な傾向が見られました。特に夏から秋にかけて降水量が多く、冬は降水量が少なく晴天が続く特徴がある場合、この都市が属する気候区分として最も適切なものはどれですか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. 瀬戸内の気候 2. 太平洋側の気候 3. 中央高地の気候 4. 日本海側の気候
- 問13 島原半島周辺の地図情報を確認した際、雲仙岳の山間部に集中して分布している「自然災害伝承碑」が伝えられていると考えられる主な災害の種類として、最も適切なものはどれですか。（2024年 愛知県公立入試 類似）
1. 津波災害 2. 冷害 3. 洪水災害 4. 火山災害

答え合わせ・解説

問1	答え 2 北西から南東へ流れている	地形図において河川の流れる方向を判断する際は、等高線の数値に着目します。水は高い場所から低い場所へと流れる性質があるため、標高40m～50mの等高線がある北西側が上流、市街地や低地が広がる南東側が下流となります。したがって、この河川は北西から南東に向かって流れていることがわかります。
問2	答え 1 路村	道路や水路などの交通路に沿って家屋が細長く並ぶ集落形態は路村と呼ばれます。岐阜県の養老付近に見られる扇状地や、江戸時代の新田開発が行われた地域によく見られる特徴です。問題文にある「果樹園」は円の中に点、「針葉樹林」は尖った木、「荒地」は短いハの字のような地図記号でそれぞれ表されます。
問3	答え 1 標高が高く夏に涼しい気候を活かし、平地の出荷量が減る時期に出荷を合わせる抑制栽培を行っているため。	中央高地では、その「夏涼しい」という気候特性を最大限に活用しています。平地では気温が上がりすぎて野菜の栽培が難しくなる夏から秋にかけて、涼しい高原地帯で栽培した野菜を出荷することで、市場での価値を高める「抑制栽培」が行われています。これは、高知県などで温暖な気候を利用して出荷を早める「促成栽培」とは対照的な取り組みです。
問4	答え 1 フォッサマグナより西側の地域では、山地や山脈は主に東西方向に連なっている。	本州の中央部を南北に縦断するフォッサマグナは、日本列島の地質や地形を分ける大きな境界線です。この境界の西側（西日本）では、山地や山脈は列島の伸びる方向に沿って東西に連なっています。一方、境界の東側（東日本）では、地形の起伏が南北に走る特徴があります。このため、日本の山地・山脈の連なりはフォッサマグナを境に「く」の字のように折れ曲がったような配置となっています。
問5	答え 2 自然の高台がない平坦な土地において、津波から一時的に身を守るために造られた避難用の丘	「命山」は、特に静岡県遠州地方（袋井市など）に見られる、津波避難を目的とした人工的な盛り土です。地形的に高い場所が近くにない平地において、確実に津波の想定高さ（浸水深）よりも高い場所へ避難できるよう設置されています。これは現代における「津波避難タワー」などと同じ目的を持った、伝統的な防災施設です。
問6	答え 4 太平洋側の都市は夏に南東からの季節風の影響で降水量が非常に多くなり年降水量が約2000mmに達するが、瀬戸内の都市は年間を通じて降水量が少なく1200mmを下回る。	太平洋側の気候は、夏に南東から吹く湿った季節風の影響を強く受けるため、夏から秋にかけて降水量が非常に多くなり、年降水量は2000mm前後まで達します。対して瀬戸内の気候は、北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏・冬それぞれの季節風が運ぶ湿った空気が遮られるため、年間を通じて降水量が1200mm以下と非常に少なく、晴天の日が多いのが特徴です。
問7	答え 4 シベリア気団から吹く湿った北西の季節風が山脈にぶつかり、日本海側や山間部に雪を降らせるため	日本の冬は、冷たく乾燥したシベリア気団から吹く北西の季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄えます。この湿った空気が日本列島の脊梁山脈にぶつかることで、日本海側やその境界に近い地域で大量の雪を降らせます。このような厳しい自然条件に適応するため、縦型信号機のような独自のインフラ構造が求められます。
問8	答え 2 扇状地	山地から平地への出口（谷口）では、川の勾配が急に緩やかになるため、それまで流されてきた土砂のうち、比較的大きな砂や石がその場に積もります。これが繰り返されることで、出口を頂点とした扇形の地形が作られます。
問9	答え 2 カルデラ	大規模な噴火によって地下のマグマだまりが空になり、その上の地盤が崩れ落ちる（陥没する）ことで形成された大きなくぼ地をカルデラと呼びます。これはポルトガル語で「鍋」を意味する言葉に由来しています。火山灰が堆積してきたシラス台地などとは、成因が明確に区別されます。
問10	答え 1 北側の中国山地と南側の四国山地によって、季節風が運ぶ湿った空気が遮られるため。	瀬戸内の気候（近畿中部を含む）は、北を中国山地、南を四国山地に挟まれているのが特徴です。冬の北西の季節風は中国山地に、夏の南東の季節風は四国山地にそれぞれ突き当たり、山を越える際に水分を雨や雪として落とすため、山に挟まれたこの地域には乾燥した空気が流れ込みます。その結果、年間を通じて降水量が少なく、晴れの日が多くなります。
問11	答え 4 ① 北西 – ② 日本海	季節風は季節によって吹く方向が変化する風です。日本の冬においては、北西（大陸側）から海に向かって吹く風が卓越します。この北西の季節風が日本海という広い海域を渡ることによって湿り気を帯びる点が、日本海側の降雪に不可欠な要素です。山地で雪を降らせた後の風は、水分を失って乾燥した状態で山を越え、太平洋側に吹き下ろすため、太平洋側では晴天で乾燥した天候が続くことになります。
問12	答え 2 太平洋側の気候	夏に太平洋から吹く湿った季節風の影響で降水量が多くなり、冬は山脈を越えた乾いた風の影響で晴天が多くなるのが太平洋側の気候の特徴です。設問にある年降水量2500mmを超える多雨という特徴は、静岡県などの太平洋側の地域によく当てはまります。日本海側は冬の降水量が多く、中央高地や瀬戸内は年間を通して降水量が少ない傾向があります。
問13	答え 4 火山災害	自然災害伝承碑は、過去の災害の教訓を後世に伝えるための地図記号であり、その災害が実際に発生した場所や被害が及んだ場所に設置される傾向があります。雲仙岳のような火山の周辺や山間部に石碑が集中している場合は、火砕流や土石流などの火山に関連する災害の教訓を伝えていると判断できます。一方、同じ島原半島周辺でも有明海などの沿岸部に分布している場合は、津波による被害を伝えている可能性が高くなります。